地域自治区から地域自治へ

~ 今後の地域のあり方 ~



令和6年3月石狩市

=説明事項=

- ① 『いまの地域自治区 制度について』
- ② 『これからの 地域自治について』
- ③ 『なくなるもの はあるか?』
- 4 『これから決めていくこと(諮問内容)』
- ⑤ 『検討スケジュール』

順を追ってご説明いたします・・

①いまの地域自治区制度について

地域自治区とは≪法律の規定に基づき 地域自治を行う区域のこと≫

平成17年10月1日合併

合併特例法 (第23条)

合併後の地域課題への対応など、

円滑な合併に資すること

〔地域自治区〕

(名称)

「旧厚田村の区域」「厚田区」

「旧浜益村の区域」「浜益区」

・ 地域協議会 を置く

・支 所 を置く

住所に自治区の名称 を冠する

「旧石狩市の区域」: 置かない

地域自治区の設置期間は・・

H₁₇~H₂7まで

R2まで

R7まで

10年間

(H23東日本大震災)

合併特例債の活用 5年間延長

⇒15年間

(H28熊本地震)

合併特例債の活用 更に5年間延長

⇒20年間

- ➡合併特例債の活用のために10年間延長
- → 合併特例債を活用する理由がなければ
 - → 合併協議書に基づき令和7年度末まで

2これからの地域自治について

"地域の事情" "自治のかたち"

それぞれ違う!

地方自治法に基づく

国の地域自治区制度

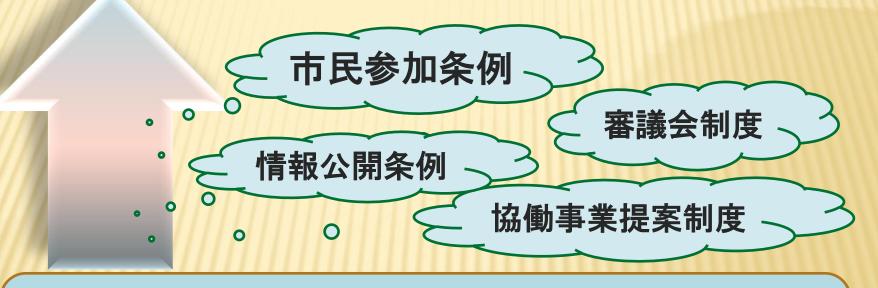
⇒ 市全域の導入が必要!

制度としてはありますが・・

<u>市の進める自治の</u> <u>方向ではありません。</u> <u>市の考える</u> 地域自治とは・・

「それぞれの地域に合った、持続可能な地域自治」

市の考える地域自治とは・・「それぞれの地域に合った、持続可能な地域自治」



「石狩市自治基本条例」による、 "市民主体のまちづくり"

市民の皆様の、ご協力をお願いいたします。

③なくなるもの はあるか?

(いま)

(これから)

(1)地域協議会

(1)地域協議会の機能・役割

(2) 支所

- (2)支所又は出張所
- (3) 住所中の<u>自治区の名称</u> (「厚田区」「浜益区」)
- (3)住所中に<u>地域の名称</u> (「厚田」「浜益」)

同時に期限を迎えますが・

残すことができます!

- (1)地域協議会(2)支所
 - ⇒ 実質的になくなりません。
- (3)「厚田区」「浜益区」⇒「厚田」「浜益」
 - ⇒ 「区」の文字は なくなります。

(3) 住所中に地域の名称「厚田」「浜益」について

≪現在≫

《自治区終了後》

石狩市「厚田区」別狩〇番地 🔷 石狩市「厚田」別狩〇番地

石狩市「浜益区」川下O番地 → 石狩市「浜益」川下O番地

※地域の名称「厚田」「浜益」残せます!

※但し、地域の名称と字名が同じ場合は・・・

石狩市「厚田区」厚田〇番地

→ 石狩市 厚田 〇番地

石狩市「浜益区」浜益〇番地

→ 石狩市 **浜益** 〇番地

※全国の事例でも、地域名を残す自治体は多い!

●市の認識!

☆現在、地域協議会が担っている機能

(1)「地域の重要事項に関する手続きのルール」

地域の声を行政に届ける仕組み

- ⇒ 今後も地域に必要!
- ⇒ これまでと変わらず 推進!

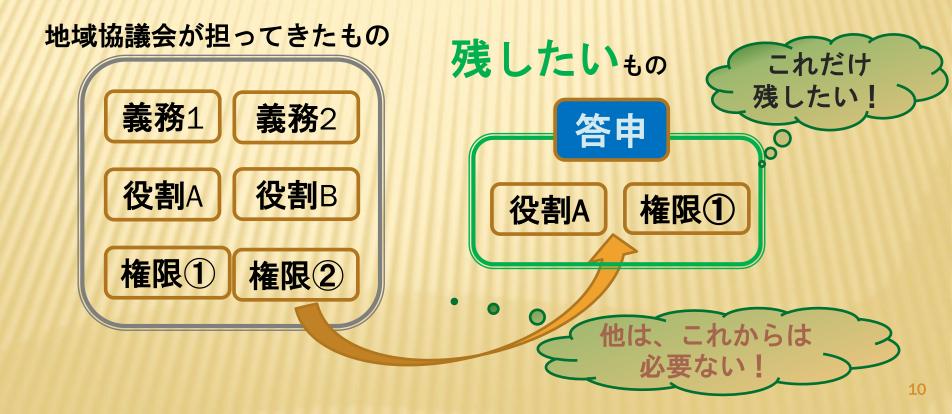
(2)「地域住民と行政をつなぐ窓口」

☆厚田支所、浜益支所の役割

4これから決めていくこと(諮問内容)について

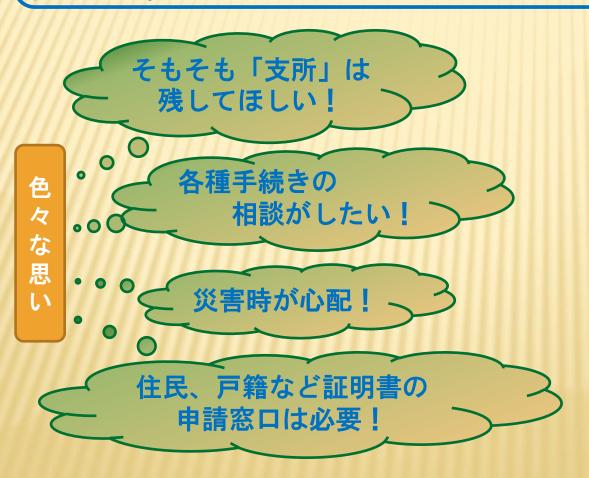
諮問1

地域協議会が担ってきた機能(役割)のうち、今後も地域のために必要な機能(役割)について



諮問2

これまで地域自治区の事務所として設置されてきた支所の機能(役割)のうち、今後も地域のために必要な機能(役割)について

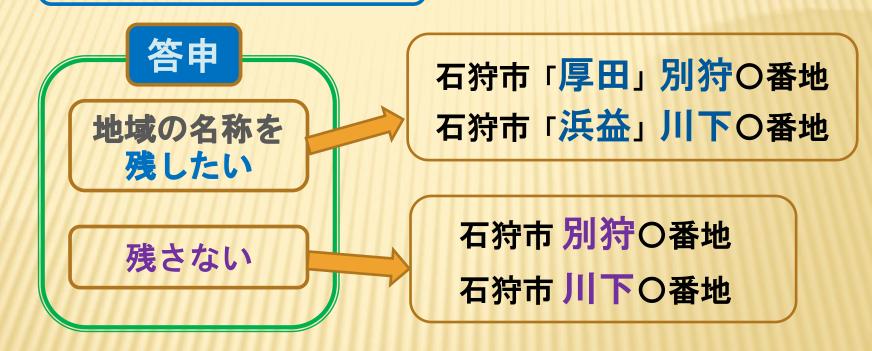


地域にあってほしい 支所の体制



諮問3

今後の住所表示について

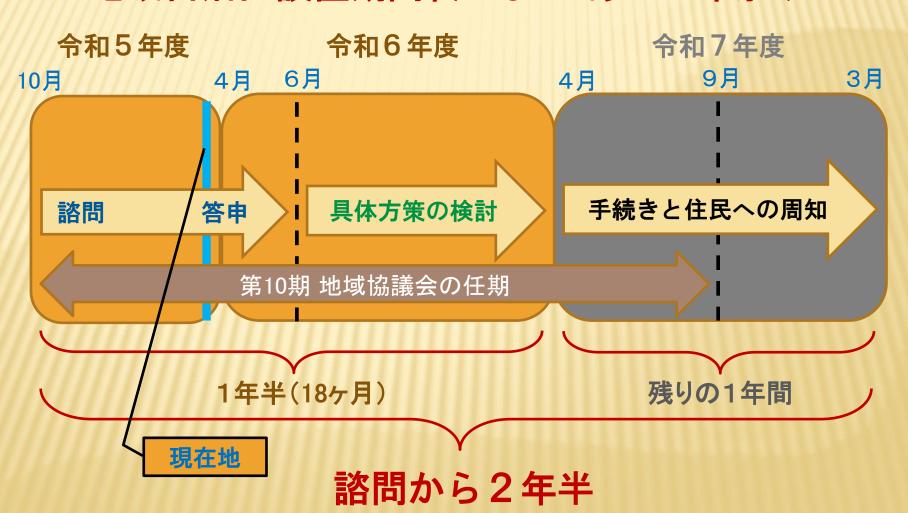


※ どちらにしても

石狩市「厚田区」<mark>厚田</mark>〇番地 石狩市「浜益区」浜益〇番地 石狩市 厚田〇番地石狩市 浜益〇番地

5「検討スケジュール」について

一地域自治区設置期間終了まであと2年余り一



どうぞよろしくお願いいたします。